



TITLE:

# 地域経済研究会会則, 投稿規定, 表紙

AUTHOR(S):

---

CITATION:

地域経済研究会会則, 投稿規定, 表紙. 資本と地域 2012, 8

ISSUE DATE:

2012-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/160683>

RIGHT:

# 資本と地域

## 第8号

---

巻頭言	大 門 正 克
論文Ⅰ	
サプライチェーンの混乱と震災復興政策	森 原 康 仁 (1)
論文Ⅱ	
京北町の京都市編入合併の検証—住民意識調査と 現地ヒアリングをもとにした平成の合併の実証研究	片 野 直 子 (20)
研究ノート	
中国における「都市農村総合計画」政策への考察—ケース スタディ：成都市における新型農村コミュニティの開発	
書評Ⅰ	
韓載香著『「在日企業」の産業経済史—その社会的基盤と ダイナミズム』(名古屋大学出版会、2010年)	
書評Ⅱ	
遠藤 環著『都市を生きる人々—バンコク・都市下層民の リスク対応—』(京都大学学術出版会、2011年)	岩 佐 和 幸 (57)
地球をあるく	
時代の変動の中の中国中小企業—温州の中小企業から見る	解 嬋 辛 (59)
地球をあるく	
カナダ留学記	森 本 壮 亮 (64)
学会参加記	
	小 山 大 介 (67)
	(69)
会員紹介	(70)
地域経済研究会会則、投稿規定	

## 地域経済研究会の会則及び概要

### 地域経済研究会会則

#### 第1条（名称）

本会は、地域経済研究会と称する。

#### 第2条（目的）

本会は、地域経済に関する研究及びその普及、並びにこれらの研究者の連絡協同を目的とする。

#### 第3条（事業内容）

本会は、研究会の開催、会誌及び書籍の刊行、その他本会の目的を達成するに適当な諸事業を行う。

#### 第4条（会員）

本会の目的に賛同して会員となるには、本会に申込み、事務局の承認を受けることを要する。会員は、年会費 1,000 円を納めることとする。

#### 第5条（代表者）

会員によって互選されたものが代表者となり、会務を執行する。

#### 第6条（事務局）

代表者のもとに事務局及び会計担当者をおき、日常の業務を執行する。

#### 第7条（事務所）

本会の事務所は、京都市左京区吉田本町京都大学経済学研究科の岡田知弘研究室に置く。

#### 第8条（設立年月日）

本会は、1996年5月11日に設立する。

### 地域経済研究会の概要

#### 【概要】

本研究会は、地域経済の理論、歴史、現状に関心のもつ研究者、大学院生、社会人が、隔月で開いている研究会である。

#### 【会の略史】

1996年5月11日（土） 第1回研究会開催

2012年2月4日（土） 第85回研究会開催

#### 【代表者】

岡田知弘（京都大学大学院経済学研究科教授）

#### 【編集委員長・事務局・会計担当者】

水島和哉（京都大学大学院経済学研究科）

LAMBINO, John XXV（京都大学大学院経済学研究科）

迫田克信（京都大学大学院経済学研究科）

#### 【機関誌】

『資本と地域』（毎年1回発行）

#### 【事務局連絡先】

〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院経済学研究科 岡田知弘研究室

Tel/Fax : 075-753-3462（研究室直通）

E-mail : okada@econ.kyoto-u.ac.jp

## 投稿規程と執筆要項

### 投稿規程

1. 本誌は主として、地域経済研究会内外の会員による地域経済および関連諸分野の研究成果を掲載する。
2. 本誌は原則として、毎年1回発行する。
3. 本誌への投稿に際しては、以下の規定に従うこと。
  - (1) 本誌への投稿原稿は、地域経済および関連諸分野に限る。
  - (2) 他で審査中あるいは掲載予定となっているものは、本誌への投稿・発表を認めない。
  - (3) 投稿者は事務局宛に以下の全てをメールすること。
    - ・ 原稿のファイル
    - ・ 原稿の表題、投稿者の氏名・ふりがな、所属機関名と肩書等、連絡先[郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス]
4. 投稿原稿については編集委員会で審査し、掲載の採否を決定する。
5. 本誌掲載に際しての著者校正は1回(初校のみ)とする。
6. 原稿執筆の様式は執筆要項に従うこと。
7. 原稿およびその他の送付物はいずれも返却しない。
8. 本誌に掲載された論文等の著作権は地域経済研究会に帰属するものとする。なお、論文等は一定期間経過後、電子メディアによる論文情報検索・参照サービス等を利用して公開する。
9. 投稿の宛先は、地域経済研究会事務局宛(okada@econ.kyoto-u.ac.jp)とする。

### 執筆要項

1. 論文は図表を含めて上限を30,000字程度とする。
2. 研究ノートは図表を含めて上限を20,000字程度とする。
3. 書評は4,000字以内とする。
4. 原稿は、横書きで、句読点も含めて1桁1字（欧文および数字は1桁2字）で作成する。ワープロを使用する場合は、余白・行間を充分にとること。
5. 注は、引用注・説明注を区別せず、通し番号を付して一括して本文の末尾に記す。章あるいは節ごとに分割しない。なお、引用・参考文献の表示方法については、WEBサイト(<http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~okada/>)において、引用文献の表示方法の標準的なスタイルを示しているので参照されたい。
6. 人名など特殊な場合以外は、なるべく常用漢字・新かなづかいを用いる。なお、資（史）料を引用する場合は、かなづかいはそのままとし、旧字（正字）の部分を通用の書体（新字）に直す。たとえば「圓」は「円」、「鐵」は鉄。
7. 単位の表記については、スペースを節約するため、できるだけ%、kgなどの略字を用いる。数字の表記については、原則としてアラビア数字を使用する。桁数の多い数字の場合は、「5億6,524万円」のように適宜単位を補ってもよい。
  - ・ 謝辞は掲載できない。

「2012年2月 一部改正」

## 編集者のひとり言

編集委員会の皆様、大変お疲れ様でした。新人としての私は、沢山のことを優しく教えていただき、大変勉強になりました。雑誌の編集をする長い間に、すべてのメンバーがお互いに支え合い、皆さんと仲良くできて、非常に楽しい経験でした。今後もこの経験を活かして精一杯頑張ります！（王 晨曦）

修士2回生の大西です。留学生の日本語校正などを担当しました。今回で8号目の発行になるそうですが、微力ながらも研究会の活動に参加できたことをうれしく思います。（大西 祐里江）

初めて編集委員として従事しており、できることが少なく、いろいろな方々からご指導と助言をいただき、いろいろと勉強になり、本当にいい経験だと思います。そして、今回は編集だけではなく、「地球を歩く」というコラムにも原稿を提出させていただきました。参考資料の調べ方から文章の修正まで、編集委員の方々と先輩たちから貴重なご指導とご意見をいただき、自分自身が勉強不足だと痛感しました。日本に来て、僅か一年半で、私は雑誌の編集や投稿などを通じて、大切な経験をしながら、皆様の力と知恵を借りて、成長していついていけると感じられます。これから、勉強すべきことは山ほどあると思いますが、『資本と地域』とともに、成長していきたいと思っています。（解 輝辛）

今回、編集委員かつ論文の投稿者として『資本と地域』に関わらせていただきました。自身の論文は至らないところが多いのですが、それでも卒業論文を改稿するという作業は非常に良い経験になり、こうして形にして頂いたことは身に余る光栄です。編集委員長の水島さん、地域経済研究会事務局のジョンさんをはじめ、編集委員の皆さんに、あらゆる面からお世話になりました。この場を借りてお礼を言いたいと思います。

さて今号は（も？）紆余曲折ありましたが、果たして次号は…？及ばずながら、先輩方から引き継いだものを、研究室というジャングルの中に滔々と流れる忘却の河に流してはならないでしょう。（片野 直子）

今回は主に原稿のチェックを担当させていただきました。自分が正しいと思っていた表現が実はそうでなかったりと、いろいろ気づかされることも多かったです。留学生ではありませんが、日本語表現の多様さ、難しさを知った次第です。今回の発行に当たり編集作業の中心となってくださった水島さん、また他の編集者の方にお礼申し上げます。次回の発行はどのような形になるかまだ未知数ではありますが、新しい編集者を加えましてより発展したものが送り出せればと思います。（迫田 克信）

博士課程三回生の Lambino です。昨年と同じように割付作業などを担当させていただきました。編集委員の皆さま、お疲れ様でした。

今年度は博士課程の修了となりました。大学院の六年間、本当にありがとうございました。（LAMBINO, John）

今回、編集委員長をさせていただきました。まずは、原稿を寄せて下さった皆さまと、素晴らしい仕事をしてくれた編集委員の皆さんに感謝申し上げます。さんざん原稿を落としてきた私が、この期におよんで編集にまわるというのも、何かの因縁であろうと思いながら作業をしてきました。今回の仕事が決まれば何かの罪滅ぼしになればと思いますし、これまでご迷惑をおかけした方々には、改めてお詫びを申し上げます。

さて、今回の編集を通して改めて思ったのは、他人のための作業で煩わしく思える編集という仕事は、自分が研究をする上でとても勉強になる、ということです。ですので、できるだけ多くの院生が積極的に『資本と地域』の編集に参加し、この先もできるだけ刊行がつづくよう願っています。そのためにも、会員諸氏の一層のサポートをお願い申し上げます。（水島 和哉）

### 資本と地域 第8号

2012 3月発

発行人	岡田知弘
発行所	地域経済研究会
連絡先	〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院経済学研究科 岡田知弘研究室 Tel/Fax : 075-753-3462（研究室直通） E-mail : okada@econ.kyoto-u.ac.jp 口座番号 : 00940-1-167133
所	（株）田中プリント 〒600-8047 京都市下京区松原通麩屋町東入 Tel 075-343-0006